

## 経常損益が赤字の外郭団体における財務状況の改善の方向性

資料 1 - 4

●合理的な理由なく赤字となった団体

団体名	財務状況(単位:千円)		H27赤字の要因	改善の実施状況と評価(H28)	
			H28赤字の要因	改善の方向性、今後の対応(H29)	
9 (公財)静岡県障害者スポーツ協会	経常損益	H26	▲ 3,641	次年度以降の全国大会の <u>ユニホームを先行購入</u> したことによる経費の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局長の給料、役職手当の引き下げを実施</li> <li>・<u>会員募集活動</u>により会費収入が増加(1,827千円→2,315千円)</li> </ul>
		H27	▲ 741		
		H28	▲ 3,871		
	剰余金	H28	▲ 4,588		
11 (公財)静岡県生活衛生営業指導センター	経常損益	H26	▲ 1,560	生衛組合の大幅な組合員減少による財政逼迫のなか <u>減価償却費を加味した負担の要請が難しい</u> (建物等の減価償却費を除いた収支ベースでは単年度黒字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準営業約款の登録数を確保する為に、<u>各種セミナーや講習会での周知やフリーペーパーによる広告</u>を実施</li> <li>・書庫として使用していた<u>部屋の賃貸化(29年7月～)</u></li> </ul>
		H27	▲ 1,501		
		H28	▲ 1,371		
	剰余金	H28	9,986		
12 (公財)静岡県労働福祉事業協会	経常損益	H26	▲ 14,477	大規模補修工事に伴う休館による利用者の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの改善や広報・営業活動の強化を実施(リニューアルキャンペーンや季節に応じたプランの提供、全国紙でのプレゼント企画の活用や広告、労働・経済団体への営業強化、専門家によるモックアップほか)</li> <li>・事業実績に結び付けるには、継続的な取組が必要</li> </ul>
		H27	▲ 18,565		
		H28	▲ 102,638		
	剰余金	H28	▲ 330,665		
13 (公財)静岡県農業振興公社	経常損益	H26	▲ 2,265	公益目的事業のみ実施しており、収支相償が原則のため、単年度経常黒字を維持することが難しい	農地中間管理事業において <u>農地の借受・貸付面積を増やし</u> 、貸借手数料の増加を図った。
		H27	▲ 1,364		
		H28	▲ 2,012		
	剰余金	H28	6,712		
25 天竜浜名湖鉄道(株)	経常損益	H26	▲ 175,037	鉄道施設の老朽化に伴う施設の <u>修繕経費及び全線の維持管理経費</u> が不可欠であるため	沿線の魅力ある <u>観光資源と天浜線の利用促進とを結びつける取り組み</u> を進め、メディアを使った積極的な情報発信を行い、 <u>年間利用者数が増加</u> した(1,523千人→1,549千人)
		H27	▲ 138,448		
		H28	▲ 156,994		
	剰余金	H28	80,675		

●特別な事情により一時的に赤字となった団体

団体名	財務状況(単位:千円)		H27赤字の要因	改善の実施状況と評価(H28)	
			H28赤字の要因	改善の方向性、今後の対応(H29)	
3 静岡県道路公社	経常損益	H26	40,330	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆・箱根スカイライン「新グランドデザイン」実施に伴う支出増</li> <li>箱根火山活動の影響による箱根スカイラインの収益の減少</li> </ul>	伊豆・箱根スカイラインの改修工事を剰余金の活用により計画的に実施
		H27	▲ 18,306		
	剰余金	H28	▲ 52,199	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆・箱根スカイライン「新グランドデザイン」実施に伴う支出増</li> <li>橋梁補修工事により田子の浦駐車場の一時使用不可による高架下駐車場の収益の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆・箱根スカイライン「新グランドデザイン」による改修工事を、平成31年度までに、コスト縮減と剰余金の活用により計画的・時限的に実施</li> <li>時限的な改修工事が終了した平成32年度以降は、黒字経営に復するようにする</li> </ul>
		H28	6,584,895		
7 (公財)静岡県舞台芸術センター	経常損益	H26	▲ 43,114	中高生鑑賞事業などの人材育成事業、創造と公演事業、せかい演劇祭における経費の増加	公演数や演目数の縮減により経費節減を図った ・中高生鑑賞事業の公演数(81本→61本) ・せかい演劇祭の演目数(9演目→6演目)
		H27	▲ 37,246		
		H28	▲ 28,884		
	剰余金	H28	129,435	※中高生鑑賞事業 人材育成事業の一環として、県内中高生の無料招待を、特定費用準備資金の計画的な活用により実施	
8 (公財)しずおか健康長寿財団	経常損益	H26	▲ 3,104	(H27黒字)	(H27黒字)
		H27	1,295		
		H28	▲ 494		
	剰余金	H28	41,210		
10 (公財)静岡県腎臓バンク	経常損益	H26	▲ 752	(公社)臓器移植ネットワークの助成事業実施のための非常勤職員増員による人件費の増加(人件費は助成対象外) ※収支相償の原則からやむを得ない赤字と評価	賛助会費や寄付金増額活動を実施
		H27	▲ 623		
		H28	▲ 2,384		
	剰余金	H28	7,602		
15 (公財)世界緑茶協会	経常損益	H26	1,334	公益目的事業に係る <b>前年度の剰余金の活用(収支相償の要請)</b>	米国での見本市の費用を県と協同で出資し費用を削減  しずおか0-CHAプラザでの開催講座の有料化
		H27	▲ 1,075		
		H28	▲ 1,059		
	剰余金	H28	1,981		
18 (公財)静岡県産業振興財団	経常損益	H26	▲ 24,907	地域活性化事業における <b>過去の剰余金の活用(公益認定基準の要請)</b> (参考)過去の経常損益 H23:93,365千円 H24:23,339千円 H25:70,083千円	新規事業の受託を積極的に行いながらも、限られた財源のなかで過度な経費支出とならないよう、今後も適正な事業運営に努めている
		H27	▲ 86,304		
		H28	▲ 82,197		
	剰余金	H28	378,933	両事業とも <b>事業実施期間全体では収支の均衡が保たれており</b> 、財団財政の健全性を損なうものではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業部門の別法人化に伴う組織体制の見直し</li> <li>経理業務の集中化等の業務効率化による人員削減や時間外勤務縮減</li> </ul>